

品目分類：果樹，技術分類：栽培技術

ビワ「なつたより」の大果特性を生かすための結果枝の種類，開花時期および果房当たり果実数	情報分類	普及情報
〔要約〕ビワ「なつたより」の大果特性を生かすためには，結果枝としては中心枝および副梢が，開花時期としては11月中旬から12月中旬の花が適している。果房当たり果実数は3個でよいが，果痕枝や，開花期の遅い果実を用いる場合には果房当たり果実数は2個とする。		
果樹部栽培研究室		連絡先 0994-32-0179
普及対象地域等	「なつたより」生産者	普及見込面積等 20戸

〔背景・ねらい〕

ビワ「なつたより」は既存品種に比べて，果実が大きく，果肉が柔らかく，食味が優れており，3 L（66 g～）以上の果実生産が期待されている。そこで，「なつたより」の大果特性を生かすための，結果枝の種類，開花時期および果房当たり果実数を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 中心枝および副梢に着果させた果実の果実重は，果痕枝に着果させた果実よりも大きい（表1）。3 L以上果実割合は中心枝で高く，果痕枝では低い。果痕枝では果房当たり葉数が中心枝より少ない。果房当たり果実数2～3個では同4個より果実重は大きい。
- 2 11月中旬～12月中旬に開花した果実の果実重は，1月中旬に開花した果実より大きい（表2）。3 L以上果実割合は11月中旬～1月上旬に開花した果実では，1月中旬に開花した果実より高い。開花時期が遅くなるにしたがい，果形指数は大きくなり，果形は短卵形から球形になる。果房当たり果実数2個では，同3～4個より果実重が大きく，3 L以上果実割合が高い。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 結果枝には中心枝および副梢を用いることが望ましいが，果痕枝を用いる場合には葉数の多いものを用いる。
- 2 開花時期が遅い果実では，摘果時に果実が小さいので，外観から種子数が多いと見込まれる大きめな果実を残すように摘果する。

[具体的なデータ]

表1 ビワ「なつたより」の果実重等に及ぼす結果枝の種類および果房当たり果実数の影響

		果実重 (g)	種子重 (g)	3L以上果実割合 (%)	果房当たり葉数 (枚)
結果枝の種類	中心枝	67.0 b	11.6a	51.7 c	19.3 b
	副梢	65.3 b	11.2a	35.5 b	15.8 b
	果痕枝	57.9a	9.7a	15.6a	12.6a
果房当たり果実数 (個)	2	66.4 b	11.5a	39.6a	15.2a
	3	64.9 b	10.9a	36.1a	16.5a
	4	58.9a	10.2a	27.1a	16.0a

- 注) 1. 結果枝の種類3水準×果房当たり果実数3水準, 二元配置
 2. 試験には3樹を用い, 平成25年12月22日に開花した花を果房当たり5~8個残して摘蕾し, 平成26年3月3日に果房当たり果実数2~4個に摘果し, 袋掛け(クロT37, 江見製袋)した。
 3. 平成26年5月8日~23日に, 果皮色が収穫適期に達した果実を果房毎収穫し, 調査した。
 4. 3L以上果実割合: 果実重66g以上の果実割合
 5. Tukeyの多重検定により, 異符号間に5%水準で有意差あり
 6. 3L以上果実割合の統計処理にはアークサイン変換値を用いた

表2 ビワ「なつたより」の果実重等に及ぼす開花時期および果房当たり果実数の影響

		果実重 (g)	種子重 (g)	果形 指数	3L以上果 実割合 (%)	果房当たり 葉数 (枚)
開花時期	11月18日	64.0 bc	11.0 bc	84.6a	46.7 b	12.6a
	12月2日	65.9 c	12.2 cd	93.4 b	47.0 b	14.4a
	12月17日	64.0 bc	12.0 cd	96.2 c	41.4 b	16.7a
	1月1日	60.3 b	11.1 b	99.4 d	32.4 b	15.6a
	1月13日	48.2a	9.5a	104.8 e	1.4a	14.7a
果房当たり果実数 (個)	2	63.7 b	11.7 b	94.9a	42.9 b	14.7a
	3	58.6a	10.8a	96.1a	28.7a	14.3a
	4	59.1a	11.0ab	96.0a	29.7a	15.4a

- 注) 1. 開花時期5水準×果房当たり果実数3水準, 二元配置
 2. 試験には3樹を用い, 平成26年11月18日~平成27年1月13日に開花した花を果房当たり5~8個残して摘蕾し, 横径が10mm程度になった時期に, 果房当たり果実数が2~4個になるように摘果し, 袋掛け(クロT37, 江見製袋)した。
 3. 平成27年4月27日~5月18日に果実を果房毎収穫し, 調査した。
 4. 果形指数: 横径÷縦径×100

[その他]

研究課題名: 鹿児島県に適したビワの育種・選定

予算区分: 公募型

研究期間: 平成27年度(平成25~27年度)

発表論文等: 平成27年度 農業開発総合センター果樹部試験成績書